

名南病院の 身体にやさしく、痛みの少ない最新手術

！安全で精密な手術！

発行日：2011. 4.10

発行：名南病院手術室

No. 8

今回は、腹腔鏡手術の**メリット(利点)**・**デメリット(欠点)**について

これまでにお話してきたように、腹腔鏡手術は最小限の皮膚切開のため開腹手術と腫瘍の切除方法・吻合法は同じですが、患者さんの体にかかる負担は少なく**メリット**も多いのですが、**デメリット**もあります。

メリット

- ①手術創が小さくできるために**手術後の痛みが軽い**
- ②手術後の**回復が早く**、歩行や食事の開始も早く出来る
- ③手術創が小さいために**手術後の痕が目立たない**
- ④手術創が小さいために**お腹の中の癒着が少なく**、術後の**腸閉塞が少ない**。



デメリット

- ①従来の開腹手術に比べて、直接手で触れることが出来ず、モニターをみながらの手術のため**時間がかかる**。
- ②腸の癒着が強い場合、手術中の**予期しない出血**、**臓器の損傷**などがあれば腹腔鏡下手術は出来ません。この場合には、従来の開腹手術に切り替えます。
- ③手術で起こり得る合併症としては、開腹手術と同様に**出血**、**感染**、**膿瘍**、**腸管損傷**、**吻合不全**（つないだ腸などから**内容が漏れること**）などがあります。
腹腔鏡手術の場合、お腹の中に二酸化炭素（お腹を膨らますためのガス）を注入して手術を行なうため、ごくまれに**皮膚の下にガスがたまる**ことがあります。



次回は、当院で行っている「腹腔鏡下胆嚢摘出術」の説明です。
お楽しみに！